

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 単位 2

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者： (A～F組： 田中)

使用教科書： (音楽 I Tutti+ 教育出版)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	<p>校歌を歌おう</p> <p>【知識及び技能】 歌唱表現について理解し、身体の使い方及び他者との調和を意識して歌う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感じながら、どのように歌うかの表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 校歌を歌うことにより、若葉総合高校生としての自覚を持ち、主体的に学習活動に取り組む。</p>	<p>歌詞の理解 発声法及び発声練習 正しい音程の取り方 テスト時の心構え及び歌唱法 歌唱法、表現法</p>	○			<p>校歌を歌おう</p> <p>【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととのかわりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 校歌を歌うことにより、若葉総合高校の一員となったことを自覚し、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○		
	<p>イタリア歌曲を歌おう～Caro mio ben～</p> <p>【知識及び技能】 言葉と発声との関わり、曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、発声法や発音等の技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感じながら、どのように歌うかの表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア歌曲を表情豊かに歌うことに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。</p>	<p>イタリア語の解説 リズム唱の方法 旋律の理解 言葉と旋律の理解 旋律の歌唱法 歌詞の意味 歌詞を踏まえた歌唱 歌詞の内容の表現 テストにおける歌唱ポイント</p>	○			<p>イタリア歌曲を歌おう～Caro mio ben～</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造とのかわりについて理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音等を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、それらのかわりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア歌曲を表情豊かに歌うことに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。</p>				
	<p>オーケストラの魅力を探ろう ～ポレロ～</p> <p>【知識及び技能】 ポレロにおける表現上の効果と音楽との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し働きを感じながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラの音色やリズム、旋律に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<p>楽器の名称及びジャンル分けの理解 楽曲解説 楽曲構成について 発表に向けた考えのまとめ方</p>		○		<p>オーケストラの魅力を探ろう ～ポレロ～</p> <p>【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造とのかわりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととのかわりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラの様々な楽器の音色や響き、またポレロのリズムに乗せた旋律が展開されながらもたらず表現上の効果に関心もち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>				
	<p>1学期のまとめと夏休みの課題について</p> <p>【知識及び技能】 1学期の学習における「知識」に関する諸事項を理解し、技能に関する諸事項を身に付け歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感じながら、どのように歌うかの表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 1学期の音楽学習のまとめとして自己の課題を確認し、主体的に学習活動に取り組む。</p>	<p>知識に関する諸事項の復習 技能に関する諸事項の復習 既習曲に関する諸事項の復習 2学期の発表に向けて内容の確認</p>	○			<p>1学期のまとめと夏休みの課題について</p> <p>【知識及び技能】 音楽 I の1学期の学習における表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。(知) 音楽 I の1学期の学習における技能に関する諸事項を身に付け、歌唱で表している。(技) 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、それらのかわりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 1学期の音楽学習のまとめとしての歌唱の実技試験や、自己の課題を確認し、2学期以降の取り組みを考えることに関心もち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>				
2 学 期	<p>音楽を紹介してみよう 様々な時代のピアノ曲を聴こう</p> <p>【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかわりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感じながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 時代や作曲家の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら、主体的に鑑賞活動に取り組む。</p>	<p>プレゼンテーションの方法 楽曲の鑑賞方法 ピアノ曲の特徴 作曲家とその時代背景</p>		○		<p>音楽を紹介してみよう 様々な時代のピアノ曲を聴こう</p> <p>【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかわりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととのかわりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 夏季休業中に作成した紹介文を使って発表会を行い、時代や作曲家の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら、曲や演奏について関心もち、主体的に協働的に鑑賞の授業に取り組もうとしている。</p>				
	<p>クラシック・ギターを楽しもう</p> <p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解し、奏法や他者との調和を意識して演奏する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感じながら、どのように演奏するかを表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ギターの奏法を身に付け、創意工夫しながら演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	<p>音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成、ギターの奏法に関する用語 様々な楽器表現の特徴 曲想と音色や奏法との関わり コード演奏法 重要における楽譜の留意点 奏法、身体の使い方などの技能 表現形態の特徴を生かして演奏する技能 調和を意識して演奏する技能</p>		○		<p>クラシック・ギターを楽しもう</p> <p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 曲にふさわしい奏法、身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、それらのかわりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 クラシック・ギターの奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽器の音楽表現を創意工夫しながら演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>				
	<p>物語と音楽との関わりを探ろう</p> <p>【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかわりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感じながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 総合芸術における表現上の効果や音楽と他の文化の相互作用に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。</p>	<p>ミュージカルの特徴 ミュージカル音楽の特徴 ミュージカル映画の鑑賞法 歌詞の発音 主旋律の音程 主旋律を際立たせる表現力 歌唱を際立たせる表現力</p>	○		○	<p>物語と音楽との関わりを探ろう</p> <p>【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と発声との関わり、表現上の効果と音楽の構造との関わり、他の芸術との関わりについて理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音等の技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、それらのかわりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響しあっているかに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>				
<p>日本の伝統音楽について学ぼう</p> <p>【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、またわが国や郷</p>	<p>日本の音階、西洋の音階 作曲家：宮城道雄 箏の楽器の構造</p>				<p>日本の伝統音楽について学ぼう</p> <p>【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、わが国や郷</p>					

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A～F組：星山 剛一）

使用教科書：（ 高校生の美術 1 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】造形の要素や働きを理解し、自ら創意工夫をして主題を表現する。

【思考力、判断力、表現力等】モチーフやテーマを観察や分析をし創造的に表現をする。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い分野を学び、社会と芸術の関連を理解し、感性と美意識を高めた心豊かな創造活動をおこなう。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・造形の要素や働きを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、自らの表現に創意工夫し主題を追及して表現している。	・対象から感じ取ったことなどから主題を創造的に生成している。 ・作品を完成させるまでの過程を理解し、作品制作を通して自分自身を表現することが出来る	・美術が私たちの生活において身近で大切なものであることを理解する。 ・主体的に表現に取り組み、感性と美意識を高めた心豊かな創造活動を行う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	A 単元 彫刻モデリング「石」 【石の形体的理解を深めて立体を捉える。造形や彩色に必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や混色による表現を発見し表現の工夫をし構想する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 素材の扱い方、道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「石」 石粉粘土、アルミオイル 木ヘラ、竹櫛、 アクリルガッシュ	○		○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのあたりや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	8
	A 単元 絵画「モダンテクニック」 【表現に必要な技能を身に付け、配色などの表現方法を創意工夫し表している。】 【筆以外の表現方法を体験しその魅力を見つけ生かす 【配色や色の塗り方など表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行	・指導事項 表現ポイントや捉え方 各道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 授業プリント アクリルガッシュセット B3画用紙	○		○	知：画材や道具の効果的な表現方法を模索し表現に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：色の効果や表現方法（技法）についての意識を働かせて表現の工夫をして制作をしている	○	○	○	4
	A 単元 絵画「背景画」 【主題のテーマや表現技法を分析し、表現に必要な技能を分析して創意工夫し表している。】 【表現の魅力や表現方法による効果を生み出し創意工夫をして構想し表現する。】 【主題を理解し、自らの感性や創造	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 B3画用紙 アクリルガッシュセント	○		○	知：モダンテクニックの表現方法を生かし、表現に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：色の効果や表現方法（技法）についての意識を働かせて表現の工夫をして制作をしている	○	○	○	8
	A単元 鑑賞「コマ撮り映像の鑑賞」 【コマ撮りアニメーションについての理解を深め、作者の表現に対するこだわりや作品への向かい方などを感じ取る】 【表現方法やその効果を理解して、自らの表現活動を振り返る。】	・指導事項 制作過程の紹介 鑑賞のポイント ・教材 プリント 鑑賞機材一式			○	知：コマ撮りアニメーションについての理解を深める。 態：映像から感じ取ったことや考えたことを文章にして表現する。	○		○	2
2 学 期	A 単元 彫刻「干支」 【動物の形体的理解を深めて立体を捉える。造形に必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫し表している。】 【動物の造形的魅力や混色による表現を発見し表現の工夫をし構想する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 素材の扱い方、道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 プリント 参考資料プリント 粘土、木ヘラ、竹櫛、 糊薬、台板、フェルト、厚紙	○		○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのあたりや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	8
	A 単元 絵画 素描「りんご」 【りんごの形体的理解を深めて立体を捉える。表現に必要な技能を身に付け、陰影などの表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や鉛筆の濃淡による表現を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「りんご」 鉛筆 2H～3B 練りゴム ティッシュ	○		○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのあたりや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	4
	A 単元 絵画 油絵「りんご」 【りんごの形体的理解を深めて立体を捉える。表現に必要な技能を身に付け、陰影などの表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や油絵具の重ね方やぼかし方による表現を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【油絵の特性と表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「りんご」 油絵具 各色 溶き油 ペーパーパレット キャンバスボードF6	○		○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのあたりや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	8
	A 単元 デザイン「塔をつくる」 グループ制作 【塔の構造を再確認し自らの表現に還元する】	・指導事項 構造のポイント 道具の使い方 表現方法の工夫				知：塔の構造を理解し、工夫して創造的に生かして材料や用具を使い表現する。 思：対象の形体から意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている	○	○	○	8

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組
 教科担当者： (A～F 組： 平澤 和泉)
 使用教科書： (書道 I 教育出版)
 教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 書を取り巻く用具についての正しい理解をする。書表現の方法や形式を古典から学び取る。書体の変遷を理解するとともに、創造的に表現するための技能を身につけていく。
- 【思考力、判断力、表現力等】 書のよさや美しさを感じとる能力を身につける。創作活動では、個性豊かに表現できる力をつけていく。書の伝統と文化という側面から書の美を味わい、深くとらえていく。
- 【学びに向かう力、人間性等】 創造的作業の取り組みとして書の伝統と文化を意識しつつ、自己表現を主体的に行うことができる。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書を取り巻く用具についての正しい理解をする。書表現の方法や形式を古典から学び取る。書体の変遷を理解するとともに、創造的に表現するための技能を身につけていく。	sq	創造的作業の取り組みとして書の伝統と文化を意識しつつ、自己表現を主体的に行うことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	仮	仮					
1 学 期	A 書的美を求めて 【知識及び技能】 文房四宝についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 用具のしくみの理解 【学びに向かう力、人間性等】 古典の価値・美しさを味わう	・教科書、用具見本 ・プリント ・p. 2～5、p. 8～9	○		○				5
	A 楷書の学習 【知識及び技能】 臨書の方法を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 書風を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 用筆・運筆を学ぶ	・p. 12～17 ・プリント 楷書の古典 唐の四大家	○		○				8
	A 楷書の学習 【知識及び技能】 臨書作品の価値とその根拠について考える 【思考力、判断力、表現力等】 書の美しさについて考える	・p. 18～29 ・プリント 唐の四大家	○		○				6
	A 楷書の学習 【知識及び技能】 古典の書表現を学び、自己表現に結び付ける 【思考力、判断力、表現力等】 書を愛好する心情を養う。	・p. 30～33 ・プリント 北魏の書	○		○				2
2 学 期	A 行書の学習 【知識及び技能】 用筆・運筆を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 古典の価値・美しさを味わう	・さまざまな行書 ・行書の特徴 ・中国の古典 ・半切作品	○		○				4
	A 行書の学習 【知識及び技能】 古典の書風と用筆の関わりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 字形・構成を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 日中の書の文化について理解する	・日本の古典 ・三筆・三跡 ・半切作品	○		○				8
	A 隷書・篆書の学習 【知識及び技能】 用筆・運筆を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 古典の価値・美しさを味わう	・隷書の用筆 ・篆書の用筆 ・身の回りの書	○		○				6
	A 書式の教室(硬筆) 【知識及び技能】 用具・用材のしくみを知る 【思考力、判断力、表現力等】 様々な書式で表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書活動に取り組む	・手紙の書式 ・年賀状の書式 ・封筒の書式 ・慶弔袋の表書	○		○				2
3 学 期	A 仮名の学習 【知識及び技能】 用具・用材について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 料紙の美しさを味わう	・仮名の成立 ・仮名の種類 ・用具・用材 ・いろは単体と連綿	○		○				6
	A 仮名の学習 【知識及び技能】 様々な書式で表現する 【思考力、判断力、表現力等】 日本の文字文化について理解する	・古典の書 ・短冊の書式 ・色紙の書式 ・懐紙の書式	○		○				4
	A 漢字仮名交じりの学習 【知識及び技能】 用具・用材を工夫して表現する 【思考力、判断力、表現力等】 古典から創作への応用を主体的に学ぶ	・用具・用材 ・全体構成 ・鑑賞	○		○				4
									合計
									55

若葉総合高等学校 令和4年度 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーション 単位数: 3 単位

対象学年組: 第1学年 A組~ F組

教科担当: (A前、D前:中村吉)(A後、B後、F前:小橋)(B前、E後:島谷)(C後、E前:佐藤)(C前、D後、F後:竹下)

使用教科書: My Way I English Communication, Hyper Listening

教科 外国語 の目標: 情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり、伝えあつたりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 外国語に関する理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面などに応じて、日常的・社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあつたりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の習得にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション の目標: 二つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた総合的な言語活動を通して、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした発能能力を育成すること

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や辞彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実用場面やコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて、適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあつたりすることができる力を養う。	外国語の習得にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	記 録 時 数
		聞 き	読 み	話 し	書 き					
Lesson1 Proverbs around the World 世界各地の物産的なことわざについて、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・紹介したいことわざについての対話の概要や要点、必要な情報をワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・世界各地の物産的なことわざについて、紹介したいことわざについて、相手や場面などに応じて、適切な内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紹介したいことわざについて、基本的な語句や文を用いて、相手や場面などに応じて、適切な内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等 ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等	○	○	○	○	○	○	○	10	
Lesson2 Inago Mitsuaki—An Animal Photographer 動物写真家である岩谷光昭さんの生き方や考えについて、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・図書室に飾る写真についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・岩谷光昭さんの生き方や考えについて、紹介したいことわざについて、相手や場面などに応じて、適切な内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図書室に飾る写真について、基本的な語句や文を用いて、相手や場面などに応じて、適切な内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等 ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等	○	○	○	○	○	○	○	10	
定期考査						○	○			1
Lesson3 Sending Canned Mackerel to Space 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・宇宙食として食べたいものについての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、新聞記事を読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・宇宙食として食べたいものについて、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・食べてみたい新しい食べ物について、理由や根拠とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等 ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等	○	○	○	○	○	○	○	10	
Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh 『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・紹介したい日本の物語についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・『クマのプーさん』に込められたメッセージについてのプレゼンテーションを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紹介したい日本の物語について、基本的な語句や文を用いて、相手や場面などに応じて、適切な内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等 ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等	○	○	○	○	○	○	○	10	
定期考査						○	○			1

Lesson 5 Endangered Languages 消滅の危機にある世界の言語について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・学びたい言語についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・消滅の危機にある世界の言語についてのインタビューを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学びたい言語について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・学びたい言語について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・自分が使う絵文字について、基本的な語句や文を用いて、説明とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等 ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 単元内でよりかき、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 ・関係代名詞、It is ... to不定詞に関する事項を理解している。 ・主張する表現の意味や働きを理解している。 ・言語の学習について、主張する表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・絵文字について、関係代名詞などを用いて、説明とともに書いて伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学びたい言語について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・消滅の危機にある世界の言語について、インタビューを読み取り、概要や要点を把握している。 ・自分が使う絵文字について、読んで得られた情報などを活用しながら、説明とともに書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。					10
Lesson 6 A Wheelchair Traveler 視覚に障害がある三人旅団さんの世界旅行の経験について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・日本の都市についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・三人旅団さんの世界旅行の経験とそこで気づいたことについてのブログを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の都市について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・日本の都市についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・日本が自由な人に対しての効果的なことば遣いについて、基本的な語句や文を用いて、理由や根拠とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等 ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 単元内でよりかき、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 ・現在分詞・過去分詞の形容詞的用法、分詞構文、It is ... that ～ の表現に関する事項を理解している。 ・理由をたずねる表現の意味や働きを理解している。 ・日本の都市について、理由をたずねる表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・世界旅行の経験について、現在分詞・過去分詞の形容詞的用法、分詞構文、It is ... that ～ の表現に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・聴かない日本の都市について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・三人旅団さんの世界旅行の経験について、理解を深めるために、ブログを読み取り、概要や要点を把握している。 ・日本語が不自由な人に対しての効果的なことば遣いについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。				10	
定期考査								1
2学期 Lesson 7 The Pigeons 難民の子どものサッカーチームができた経緯について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・ボランティア活動についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・難民の子どものサッカーチームができた経緯についてレポートを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ボランティア活動について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・ボランティア活動についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・オリンピックのあるべき姿について、基本的な語句や文を用いて、説明とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等 ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 単元内でよりかき、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 ・関係副詞、比較級・最上級に関する事項を理解している。 ・誇り表現の意味や働きを理解している。 ・ボランティア活動について、誇り表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・難民の子どもたちへの支援について、関係副詞や比較級・最上級に留意して、内容を聞き取る技能を身に付けている。 ・オリンピックのあるべき姿について、関係副詞などを用いて、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ボランティア活動について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・難民の子どものサッカーチームができた経緯について、理解を深めるために、レポートを読み取り、概要や要点を把握している。 ・オリンピックのあるべき姿について、読んで得られた情報などを活用しながら、自分の考えを書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。				10	
Lesson 8 Avatar Robots 科学雑誌が発表した分身ロボットについて、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・未来の技術や製品についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・分身ロボットについて科学雑誌を読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・未来の技術や製品について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・未来の技術や製品についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・望ましいロボットのあり方について、基本的な語句や文を用いて、説明とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等 ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 単元内でよりかき、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 ・条件を表すif、仮定法過去、I wish ～、as if ～に関する事項を理解している。 ・ほめる表現の意味や働きを理解している。 ・未来の技術や製品について、ほめる表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・科学技術と製品について、条件を表すif、仮定法過去、I wish ～、as if ～に留意して、内容を聞き取る技能を身に付けている。 ・望ましいロボットのあり方について、条件を表すifなどを用いて、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・望ましい未来の技術や製品について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・分身ロボットについて、理解を深めるために、科学雑誌の記事を読み取り、概要や要点を把握している。 ・望ましいロボットのあり方について、読んで得られた情報などを活用しながら、自分の考えを書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。				10	
定期考査								1

<p>Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination 児童文学作家の角野栄子さんの作品と想像力の関係について、理解して考えを深めることができる。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後の暮らし方についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・角野栄子さんの作品と想像力の関係についての講演を読み、概要や要点を把握することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後の暮らし方について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを語って伝え合うことができる。 ・高校卒業後の暮らし方についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・物語によって心を動かされた経験について、基本的な語句や文を用いて、説明とともに書いて伝えることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 <p>単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	10
<p>Lesson 10 SDGs—Sustainable Development Goals SDGsに関するさまざまな問題について、理解して考えを深めることができる。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・SDGsに関するさまざまな問題についてのプレゼンテーションを読み、概要や要点を把握することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを語って伝え合うことができる。 ・SDGsに関する問題についてグループで調査した内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・SDGsに関する問題についてグループで調査した内容を基に、基本的な語句や文を用いて、発表のための原稿を書くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>・指導事項 本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人1台端末の活用 等 <p>単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題 等</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	10
<p>定期考査</p>		○	○	○	○	○	○	○	○	1

若葉総合高等学校 令和4年度 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第1学年 A組～ F組
 教科担当者: (A, C, F: 中村吉) (E: 藤村) (B, D: 宮崎)
 使用教科書: BIG DIPPER

教科 外国語 の目標: 「情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力」を育成すること

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標: 英語学習の特質を踏まえ、三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」を中心とした発信能力を育成すること

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合う技能を身に付けるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して論理の構成や展開を工夫して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話 〔 や り 取 り 〕	話 〔 発 表 〕	書					
Part1 Lesson1～4 英文の基本構造 【知識及び技能】 ・主語+動詞の構造、動詞の用法、名詞・冠詞の用法、否定文や疑問文を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝えたい内容を適切な英語で伝えることが出来る。 ・日常行うことや、友人など身の回りの人、物事について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組む姿勢があり、英語の基本的な構造を習得しようとしている。	【指導項目】 ・主語+動詞の構造 ・基本的な動詞の用法 ・名詞・冠詞の用法 ・肯定文、否定文、疑問文 【教材】 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用	○	○		【知識及び技能】 主語+動詞の構造を理解した上で、日常的に用いられる日本語の言い回しについて、英語でどのような動詞を用いるのかを理解している。名詞の性質や冠詞の用法を理解した上で文を作ることができる。英語で肯定、否定を表す分野、疑問文にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主語+動詞、動詞や名詞・冠詞の用法・肯定文や否定文の使い方を理解し、適切に表現できる。 ・身近な場面において正しい英文の構造で言いたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
Part2 Lesson1～2 Shool 【知識及び技能】 ・英語で勧誘、提案、依頼の聞き方や理由の聞き方、述べ方の表現を理解できる。 ・学校生活や教科について英語の表現方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・英語で勧誘、提案、依頼を行い、理由を聞く、述べることができる。 ・学校生活や教科について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	【指導項目】 ・勧誘、提案の表現→Would you like to ～ ?, Let's ～, Shall we ～ ?, Why don't we ～ ?, How about ～ ? ・依頼、理由の表現→Will you do me a favor?, Can you ～ ?, Could you (please) ～ ?, Why ～ ?, Because.... 【他】 ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・英語で「勧誘」「提案」をするにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・英語で「依頼する」「理由を聞く・述べる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「勧誘」「提案」「依頼する」「理由を聞く・述べる」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・学校生活についての表現を習得しようとしている。	○	○	○	2
定期考査						○	○		1

1 学 期	<p>Part1 Lesson5～7 時制</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形、未来形、現在完了形を正しく理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの人について英語で表現できる。 ・余暇の予定や計画などについて、英語で表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現在の状態・習慣」「過去の状態・動作・習慣」「現在進行中の動作」「過去に進行中であった動作」→現在形、過去形 ・「未来」→will、be動詞+going+to ・「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」→have+過去分詞 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、未来形、現在完了形、現在完了進行形を正しく理解し自分や話し相手の日常の行動、予定、自分や話し相手の経験について、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な場面において、現在形、現在進行形、過去形、過去進行形、未来形、現在完了形、現在完了進行形を用いて適切に表現できる。 ・個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・日常の行動や予定・経験や継続される動作の内容を述べる表現などを習得しようとしている。 	○	○	○	7
	<p>Part2 Lesson3～5 daily life</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で確認・訂正、心配を表す、助言を行うことができる。 ・英語で義務・必要を述べることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余暇の過ごし方や体調などに関して、また家事についてなど、日常生活の事柄を英語で表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認、訂正の表現→付加疑問, actually, You mean ~? ・心配、助言の表現→What's the matter?, I think you should ~, It would be good for you to ~ ・義務、必要の表現→need to, (don't) have to, be supposed to <p>【他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で「確認」「訂正」の表現方法や、「心配する」「助言する」時の言い方、「義務」「必要」の表現方法を理解している。 ・余暇の過ごし方や趣味、家事への関与などについて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 ・会話の相手の体調などについて、「心配する」「助言する」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「確認」「訂正」「心配する」「助言する」「義務」「必要」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・余暇の過ごし方や身の回りのこと、病気やけがの名称、症状や原因・状況、対処に関する語句や表現、家事を表す語句やその関与を述べる表現などを習得しようとしている。 	○	○	○	3
	定期考査					○	○		

<p>Part1 Lesson8～9 助動詞</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力・許可・医療・必要・義務・過去についての推量・後悔などを適切な土壌氏を使って英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・先生や学校での生活、催し物や行動などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, could, may, must, have to, should, shall, will, would, used to 【教材】 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用 	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「可能」「許可」「推量」「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔」といった各表現を正しく理解し身近な人に対して依頼したり、提案や必要などを伝えたり、過去の行動や状況などを推測したりして、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、助動詞 can, could, may, must, have to, should, shall, will, would, used to といった各表現を用いてコミュニケーションをとることができる。 ・「可能」「許可」「推量」「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔」に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・助動詞による丁寧さの違いを認識して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを行おうとしている。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>Part1 Lesson10 文型</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有名人などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SV、SVC、SVO、SCOO、SVOC 【教材】 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用 	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SVC、SVOを正しく理解し、適切な場面で表現する技能を身に付けている。 ・SV00、SVOCを正しく理解し、適切な場面で表現する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第1文型から第5文型を用いて身近な人や場面を適切に表現し、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・各文型の役割や意味を理解し、特徴を踏まえたうえで身の回りの出来事について表現しようとしている。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>Part1 Lesson11 受け身</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～される」「～に満足している」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読書や感情に関連する事柄などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・be動詞+過去分詞(+by～)、be動詞+not+過去分詞 ・助動詞+be動詞+過去分詞、be動詞+being+過去分詞、have been+過去分詞 【教材】 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用 	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・建物などの説明、オンラインショッピングなどの場面で、受け身の表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、be動詞+過去分詞(+by～)、be動詞+not+過去分詞、助動詞+be+過去分詞、be動詞+being+過去分詞、have been+過去分詞を用いて「受け身」の意味を表現する。 ・「受け身」の意味に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・「受け身」を使用するのが適切な場面や状況を理解して、コミュニケーションを図ろうとしている。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>Part2 Lesson6～9 Feelingsand plans</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語で期待・確信・謝罪・計画・予定・感想を述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットに関して英語で表現できる。 ・失敗したことなどについて英語で表現できる。 ・旅行や休日の計画を英語で表現できる。 ・旅行などでの経験について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待、確信の表現→can't wait to, look forward to, be certain[sure] ・謝罪の表現→I'm sorry ～, Excuse me for ～, etc. ・計画・予定の表現→be planning to, be going to, be thinking of ・感想→How did you like ～?, I found it ～, My best experience was ～ 【他】 ・一人1台端末の活用 	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で「期待」「確信」「謝罪する」「謝罪に応じる」「計画」「予定」「感想を尋ねる・述べる」を述べるにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・インターネットの使用、自分や他人の失敗、旅行や休日の過ごし方、旅行などでの経験について、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「期待」「確信」「謝罪する」「謝罪に応じる」「計画」「予定」「感想を尋ねる・述べる」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・「スマートフォンの適切な使用」「謝罪のときに気をつける点」「個人での旅行とグループでの旅行のどちらがよいか」「外国への旅行について、どこに行って何がしたいか」などの話題に対して、自分の意見やその理由などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・インターネットの歴史や、長所・短所、自分の過失、計画、旅行での経験などを述べる表現などを習得しようとしている。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>

2 学 期	<p>Part1 Lesson12~13 to不定詞</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・希望や目標、物事を行う方法、助言や頼み事などについて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・to不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法 ・原形不定詞 【教材】 ・STOCK ・LESSONブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～するために」「～して」「～すること」といった表現方法を理解して、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 ・to不定詞と原形不定詞の違いについて理解し、適切に表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、S+V+O+to不定詞の構文を用いて「願望」「使役・許可」「命令・指示・依頼」などの意味や、S+V+O+原形不定詞の構文を用いて「…が～するのを見る（聞く）」などの意味を表現する。 ・to不定詞や原形不定詞の用法に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・「目的」「原因」「判断の根拠」となる行為や、SV0+(to)不定詞であらわされる行動の内容を述べる表現を習得しようとしている。 	○	○	○	○	5
	<p>Part2 Lesson10~11</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で程度・結果・願望・目的を述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人の性格や特徴、職業などについて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・程度・結果→ so ~ that ..., ~ enough to do ・願望・目的→What do you want to do?, in order to do, would like to do, so that ~, have a dream of doing 【他】 ・一人1台端末の活用 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で「程度・結果を述べる」「願望」「目的」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・人の性格や特徴、将来の職業などについて、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「程度・結果」「願望」「目的」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・「交換留学生の友人への紹介」「交換留学生へのもてなし」「将来の職業」などの話題に対して、自分の意見・理由などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・職業などを示す語句や、それに必要な資質を述べる表現などを習得しようとしている。 ・人の性格や特徴などを示す語句や、人を紹介する際の表現などを習得しようとしている。 	○	○	○	○	3
	<p>Part1 Lesson14~15 現在分詞</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～している」「～しに行く」「～しているのを見る」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・休暇での出来事などについて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SV+～ing、SV0+分詞 【教材】 ・STOCK ・LESSONブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」「～しているのを…する」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのかを理解している。 ・趣味や幼いころの思い出、情景などについて、分詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、現在分詞、過去分詞を用いて、それぞれ「～している…」「～された…」と名詞を説明する表現を行う。 ・適切な場面において、SV+分詞の構文を用いて「～しながら…する」などを、SV0+分詞の構文を用いて「人が～しているのを…する」などを表現する。 ・現在分詞、過去分詞に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・分詞の後置修飾や、SVC、SVOCで表8限される内容の語彙などを取得しようとしている。 	○	○			5
	<p>Part2 Lesson12~13 Sympathy and gratitude</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で同情・共感する、励ますことができる。 ・英語で感謝・喜びの気持ちを述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・悩みごとについて英語で表現できる。 ・送別の場面などについて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。 	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同情・共感→What's bothering you?, I'm very sorry to hear ~, Is everything all right?, etc. ・感謝・喜び→Thanks a lot for ~, I'm glad ~, etc. 【他】 ・一人1台端末の活用 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で「同情・共感する」「励ます」「感謝」「喜び」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・悩みごとなどについて、「同情・共感する」「励ます」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 ・送別の場面や、その他の日常の行為において、「感謝する」「喜ぶ」などの表現を含めてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「同情する」「励ます」「感謝」「喜び」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・「励まされた経験」などの話題に対して、自分の経験や考えなどを正しく伝える。 ・「自分が感謝すべき人」「贈り物の包みをその場で開けるか」などの話題に対して、自分の意見や理由などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・自分の過失や不幸な出来事やを述べる表現などを習得しようとしている。また、学校生活の思い出や親切な行為を述べる表現などを習得しようとしている。 	○				3
	定期考査					○	○			1

教科	家庭	の目標: 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	

科目	家庭基礎	の目標: 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準				配当 時数
			知	思	態		
1 学 期	単元 生涯を見通して、自分らしい人生をつくる 【知識及び技能】 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があること、生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をすることの重要性や家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計や青年期の自立と家族・家庭について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 生涯を見通して、自分らしい人生をつくる 生涯の生活設計 1 人の一生と生活設計 2 ライフイベントと人の生き方 3 目標と意思決定 青年期の自立と家族・家庭 1 これからの人生に向かって 2 家族・家庭とは何だろう 3 これからの家庭生活と社会 教材；教科書、資料集、ワークシート	単元 生涯を見通して、自分らしい人生をつくる 【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者、社会の関わりから様々な生き方があることを理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会の関わりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活、家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計や青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返りして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	単元 衣生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとする。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 衣生活と健康 1 衣服の働き 2 衣服ができるまで 3 衣生活の計画と管理 4 これからの衣生活 教材；教科書、資料集、ワークシート、被服実習材料・用具 ・一人1台端末の活用	単元 衣生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解する。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ホームプロジェクトに取り組もう	単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。				

1. 2. 学期	<p>【思考力・判断力・表現力等】 自己の家庭生活や地域の生活を関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<p>教材；教科書、資料集、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	2
----------------	---	--	---	---	---	---

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した生活を送るために必要な家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理、消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定の重要性、消費者保護の仕組みなどについて理解するとともに、生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付ける。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫する力を身に付ける。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費、持続可能な社会と環境について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実に貢献するために実践しようとする。 	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>経済計画 1 家計とお金の将来を考えよう 消費生活 1 何をどうやって買う？ 2 かしい消費者になろう 環境 1 環境問題を考える 2 私たちにできること</p> <p>教材；教科書、資料集、ワークシート、</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 ・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫する力を身に付けている。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実に貢献するために実践しようとしている。 	○	○	○	8	
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について生活と環境の関わりについて理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて、論理的に表現するなどして、自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付ける。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に貢献するために実践しようとする。 	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>食生活と健康 1 「食べる」ということ 2 私たちが食べているもの 3 安全に食べるために 4 健康に食べるために 5 おいしく食べるために 6 ずっと食事を楽しむために</p> <p>教材；教科書、資料集、ワークシート、調理実習材料・用具</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、生活と環境の関わりを踏まえて目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて、論理的に表現するなどして、自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付けている。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に貢献するために実践しようとしている。 	○	○	○	16	
	定期考査				○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境についての問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に貢献するために実践しようとする。 	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>住生活と住環境 1 「住まい」とは 2 安全な住まい 3 快適な住まい 4 住まいの課題と未来の暮らし</p> <p>教材；教科書、資料集、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境についての問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に貢献するために実践しようとしている。 	○	○	○	7	
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>子供の生活と保育 1 子どもの成長を見つめる 2 子どもの生活と保育 3 これからの子育て環境</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p>						

3 学 期	<p>子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性についての問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。</p>	<p>教材；教科書、資料集、ワークシート 保育人形、模型等</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性についての問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。</p>	○	○	○	8	
	<p>単元 高齢者の生活と福祉、共生社会</p> <p>【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者の自立生活の支援、家族や地域及び社会の果たす役割、地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>高齢者の生活と福祉、共生社会</p> <p>高齢者の生活と福祉 1 高齢期ってどういう時期？ 2 高齢化する日本を生きる</p> <p>共生社会 1 共生とは何か？ 2 ノーマライゼーションとは</p> <p>教材；教科書、資料集、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>単元 高齢者の生活と福祉、共生社会</p> <p>【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者の自立生活の支援、家族や地域及び社会の果たす役割、地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。</p>	○	○	○	4	
	<p>定期考査</p>				○	○		1
							合計	
							70	

年間授業計画 新様式

若葉総合高等学校 令和 2022 年度

教科

情報科

科目

情報 I

教科: 情報科

科目: 情報 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 A 組 ~ F 組

教科担当者: (A~F: 村井 厚美)

使用教科書: 情報 I 図解と実習

教科

情報科

の目標: 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】

情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。

【学びに向かう力、人間性等】

情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目

情報 I

の目標: 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深める。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 情報社会を見渡してみよう 【知識及び技能】 情報セキュリティを高める方法、情報社会を支える法律について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 身近な事例から情報社会を意識し、基本的な情報モラルについて考える。 【学びに向かう力・人間性等】 よりよい情報社会の発展のために必要なことを意識する。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 情報社会を見渡してみよう 【知識及び技能】 情報セキュリティを高めるためにどのような方法があるか理解している。 個人情報や知的財産権、産業財産権は法律によって 【思考力・判断力・表現力等】 スマートフォンやSNSの活用について考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 進化する情報社会を具体的に自分事としてとらえようとしている。	○	○	○	
	単元 メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 メディアとコミュニケーション手段の発達について知る。 【思考力・判断力・表現力等】 インターネット上のコミュニケーション手段とその特性を生かす。 【学びに向かう力・人間性等】 ソーシャルメディアの特徴と活用する際の注意点を知る。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 メディアの進化について理解している。 ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 実際の場面で、どのようなコミュニケーション手段を用いればよいかを判断することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し、よりよい活用法を探ろうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
	単元 情報デザイン 【知識及び技能】 情報を伝える手段の特徴を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 情報をうまく伝えるための情報デザインの考え方を学ぶ。 【学びに向かう力・人間性等】 情報デザインによる問題解決の流れを意識する。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 情報デザイン 【知識及び技能】 情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 情報を伝える目的ごとに適した手段について考えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ブレーンストーミングやKJ法を用いて問題を主体的に見つけようとしている。 評価と振り返りの重要性について主体的に考えよう	○	○	○	
	単元 情報のデジタル化 【知識及び技能】 アナログとデジタルの特徴を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 2進法による表現ができる。 【学びに向かう力・人間性等】 文字、音、画像、動画のデジタル化のしくみについて知る。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 情報のデジタル化 【知識及び技能】 アナログとデジタルの特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 数を2進法、10進法、16進法で表現することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 サンプリング周波数・量子化ビット数を変化させた場合の音の変化を考察しようとしている。 画像がデジタル化されるしくみや、光と色の3原色	○	○	○	
定期考査			○	○	○		

2 学 期	<p>単元 アルゴリズムとプログラ</p> <p>【知識及び技能】 アルゴリズムの基本構造を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 アルゴリズムを図式化できる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 プログラムとプログラミング言語について知る。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末</p>	<p>単元 アルゴリズムとプログラム</p> <p>【知識及び技能】 アルゴリズムを構成する順次・分岐・反復について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 アルゴリズムをフローチャートでわかりやすく表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 さまざまなプログラミング言語について関心を持ち、その特徴について調べようとしている。</p>	○	○	○	
	<p>単元 モデル化とシミュレー</p> <p>【知識及び技能】 モデル化の目的や方法について知る。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 シミュレーションによる問題解決ができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 モデル化やシミュレーションの必要性を考える。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末</p>	<p>単元 モデル化とシミュレーション</p> <p>【知識及び技能】 モデル化の目的について理解している。それぞれのモデルの種類とその特性を理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 パラメータを変えることによってよりよい結果を検討することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 モデル化が自分自身の生活でどのような場面で活用されているかを考えようとしている。生活の中のシミュレーション事例を主体的に考え出</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
	<p>単元 情報通信ネットワークの</p> <p>【知識及び技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 データ伝送のしくみについて考える。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 情報セキュリティの考え方や対策方法について知る。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末</p>	<p>単元 情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>【知識及び技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 情報通信ネットワークでデータがどのようにやり取りされているか説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用しようとしている。</p>	○	○	○	
	<p>単元 情報システムとデータ</p> <p>【知識及び技能】 データの形式とデータモデルについて理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 データベースの考え方を踏まえて基本的な操作ができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 情報サービスとデータベースの関係を知る。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末</p>	<p>単元 情報システムとデータベース</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 実例に応じてどのようなデータベースをつくり、どのように操作してデータを取り出すかを考えている。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めようとしている。データベースが必要となる場面やその構築例につい</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
3 学 期	<p>単元 データの活用</p> <p>【知識及び技能】 データ分析の基本的な方法について理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 データの収集方法、データの種類、データの整理の方法について知る。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 問題解決におけるデータの活用方法について考える。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末</p>	<p>単元 データの活用</p> <p>【知識及び技能】 数値データの集計やテキストマイニングについて理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 データの性質の違いを把握し、データの分析を行うことができるデータになっているかを考察している。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 データの分析を通して自分の考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○	○	
							合計

年間授業計画 新様式

若葉総合高等学校 令和 令和4年度 年度 教科 産業社会と人間 科目 産業社会と人間

教科: 産業社会と人間 科目: 産業社会と人間 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 A 組 ~ F 組

教科担当者: (A: 柏木 栗原) (B: 田村 島谷) (C: 中村 佐藤) (D: 筒井 土方) (E: 村井 藤村) (F: 星山 坂口)

使用教科書: —

教科 産業社会と人間

の目標: ① 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付ける。 ② 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。
③ 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。 ④ 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。
⑤ 2年次の選択科目を自分にとって正しく選ぶことができる。

【知識及び技能】	社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付ける。 2年次の選択科目を自分にとって正しく選ぶことができる。
【思考力、判断力、表現力等】	学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。

科目 産業社会と人間

の目標: ① 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付ける。 ② 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。
③ 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。 ④ 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。
⑤ 2年次の選択科目を自分にとって正しく選ぶことができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。	学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。	今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・自作教材を活用した自己理解等 ・PCの活用方法を学ぶ基礎演習 ・Teamsを活用した課題配信 ・o365を活用した課題制作	単元 自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。	○	○	○	
	単元 自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・自作教材を活用した自己理解等 ・PCの活用方法を学ぶ基礎演習 ・Teamsを活用した課題配信 ・o365を活用した課題制作	単元 自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。	○	○	○	
	単元 自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。	・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等 ・自作教材を活用した自己理解等 ・PCの活用方法を学ぶ基礎演習 ・Teamsを活用した課題配信 ・o365を活用した課題制作	単元 自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。	○	○	○	
	定期考査	—	—				

合計